ハグロトンボと舞岡川の水質

横浜市立舞岡中学校　科学部

ハグロトンボについて

- 本州・四国・九州に分布している。
- 羽が黒く胴体が細いことが特徴。
- 1965年頃に横浜からほぼ絶滅したと思われていた。
- しかし1995年に金沢区の侍従川にて再発見。
- 以後各地で確認されるようになり調査も開始される。
- ハグロトンボの生育には**綺麗な水質**や水生植物が必要

⇒　**環境指標になる生物と考えられている**

これまでの研究

今までの科学部の研究で分かったこと

- ハグロトンボの復活は周辺地域の下水道によるもの

- 近年は舞岡川の水質がアルカリ性に近づいている

⇒　魚の大量死の発生

舞岡川と科学部の活動について

- 舞岡川は学校近くの舞岡公園付近を源流とし、柏尾川に注ぐ河川です。科学部では、舞岡川の水質とハグロトンボを中心とした生物との関係を調べています。

主な調査内容

1.水質の調査
2.ハグロトンボの分布の調査
3.その他の生き物の調査

水質の調査内容

1）パックテストやpH機などを使って舞岡川の水質を調査している。

2）調査内容をもとに水質の状況の傾向を調べている。

舞岡川の水質調査結果

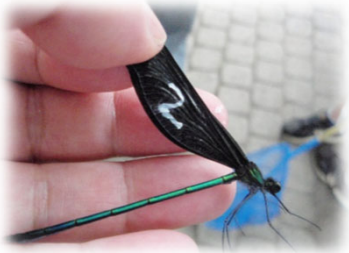
調査地点：舞岡中学校前

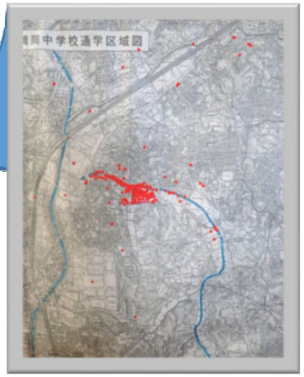
舞中前〈定期〉	5月20日（木）	5月25日（火）	5月28日（金）	6月1日（火）	6月3日（木）	6月15日（火）	6
気温	22.5	24	24.4	25.5	28.2	27.9	
水温	19.6	24	20.1	23.7	22.8	24.9	
COD	0	20	0	5	0	5	
亜硝酸	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.02	
リン酸	0.1	0.2	0.2	2	0	0.2	
アンモニウム	0.5	0.2	0.2	0.1	0.5	0.2	
pH	5.7	7	7.9	8.6	9.1	7	
電導度	0.41	0.42	0.32	0.34	0.38	0.39	
水の色	透明	透明	透明	透明	透明	透明	
水の量	少ない	少ない	少ない	少ない	少ない	少ない	
増水の有無	無し	無し	無し	無し	無し	無し	
天気	小雨	晴れ	曇り	晴れ	晴れ	晴れ	

ハグロトンボの分布の調査

1）ハグロトンボを見つけたら地図の見つけた場所にシールをはるよう全校生徒に依頼している。

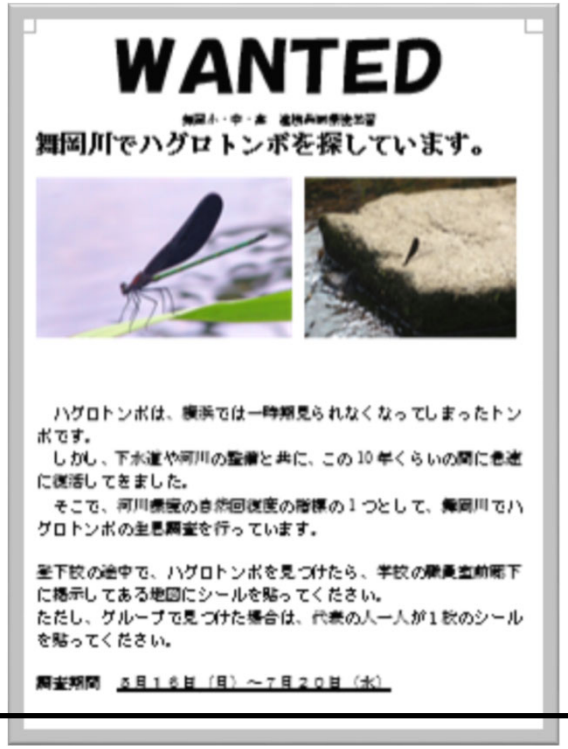
2）舞岡川にいるハグロトンボの羽に番号を書いて追跡調査・記録する。





ハグロトンボの分布の調査

1）ハグロトンボを見つけたら
地図の見つけた場所に
シールをはるよう全校生徒
に依頼している。



WANTED

舞岡川でハグロトンボを探しています。

ハグロトンボは、横浜では一時期見られなくなってしまったトンボです。
しかし、下水道や河川の整備と共に、この10年くらいの間に急速に復活してきました。
そこで、河川環境の自然回復度の指標の1つとして、舞岡川でハグロトンボの生息調査を行っています。

至下校の途中で、ハグロトンボを見つけたら、学校の昇降口前廊下に掲示してある地図にシールを貼ってください。
ただし、グループで見つけた場合は、代表の人一人が1枚のシールを貼ってください。

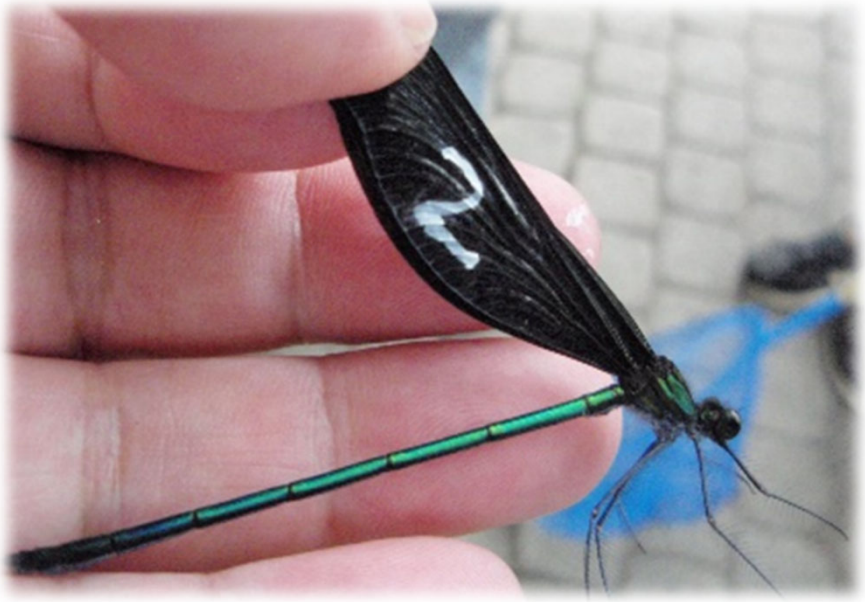
調査期間　5月16日（日）～7月20日（水）

2021年の調査結果

- 川から離れたところにも
  ハグロトンボが見られた。
- 学校内でハグロトンボが
  見られることも多かった。

ハグロトンボの分布の調査

２）舞岡川にいるハグロトンボの翅に番号を書いて追跡調査・記録する。

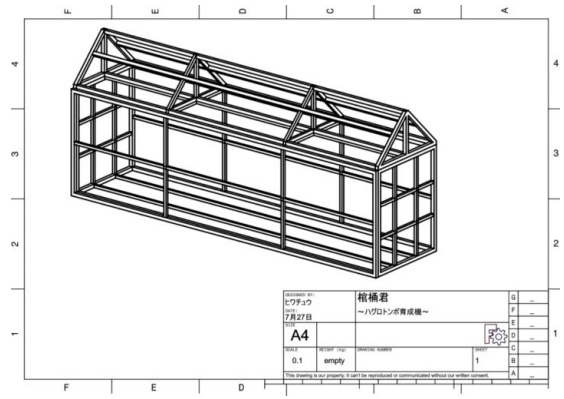


その他の生き物の調査

- 学校内にある池のミジンコなどの観察、 舞岡川にいる魚などの飼育をしている。

その他の取り組み

- ハグロトンボを飼育するために現在飼育装置を製作している。



まとめと今後の活動について

【まとめ】

舞岡中学校科学部では、部員だけでなく全校生徒の協力を得ることによって、ハグロトンボがどこに多いのかなどの統計をとっている。

また、ハグロトンボ以外の生物の調査も進めている。

【今後の活動】

ハグロトンボの飼育装置を完成させて、ハグロトンボの生態をより詳しく調査する。

池の環境をよくすることで生態系がどのようになっていくかを調査する。